



TITLE:

圖版

AUTHOR(S):

---

CITATION:

圖版. 地球 1928, 10(3)

ISSUE DATE:

1928-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183495>

RIGHT:



圖は信濃國諏訪湖の北東約八軒の距離にある霧ヶ峯火山群中の一峯、大笹山である。霧ヶ峯火山群の主峯霧ヶ峯は本邦に於いて我々の近づき得る殆ど唯一の扁平なるアスピート型火山である。大笹山は其の北東にある他の一のアスピート型火山にして高距約一八二〇米、山頂には東方に開いた大爆發火口(直徑一軒餘)があるが圖は其の眞西麓なる八嶋池畔(高距約一六三〇米)より撮られた爲め如何にも緩らかな山容を呈し完全なるアスピート型火山の地形を示して居る。前景をなす八嶋池及び此處に寫つて居らない鎌ヶ池は生物學者には古くから知られた池で又キヤンピングの好適地である。大笹山の名は五万分の一地形圖中には記入して居ないが池の名は二つとも載つて居る。(本間記)